

広報 いずも

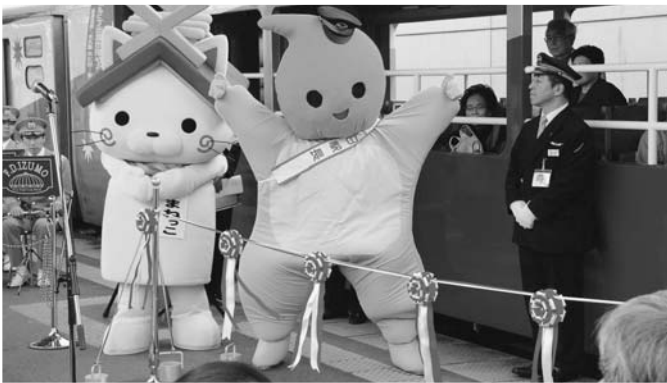
第123号 平成22年(2010)4月22日発行

出雲から開放的な旅を トロッコ列車 JR出雲市駅から出発

目次	子ども手当制度	2
	ふるさと納税制度	4
	おしらせ	12~15



JR出雲市駅から出発する「奥出雲おろち号」



一日駅長は、出雲弥生の森博物館のマスコットキャラクター「よすみちゃん」が務めました(中央)



JR西日本のトロッコ列車「奥出雲おろち号」の運転が4月3日から始まり、今年から片道延長運転がスタートする出雲市駅で出発セレモニーが行われました。

奥出雲おろち号の出雲市駅までの片道延長は、斐伊川流域の関係市町でつくる「出雲の国・斐伊川サミット(出雲市、雲南市、奥出雲町、飯南町、斐川町)」が、新たな観光ルートの創出や交流人口の拡大策として、JRに提案し、実現したものです。

セレモニーでは、関係者によるテープカット、くす玉割りが行われた後、一日駅長を務めた出雲弥生の森博物館のマスコットキャラクター「よすみちゃん」が出発の合図を送りました。

「奥出雲おろち号」は11月23日までの金・土・日曜日、祝日に運転し、夏休み、紅葉期間は平日も運転します。全運転日156日のうち50日ほど出雲市駅から片道延長運転する予定です。

ぜひ、皆さんもトロッコ列車の開放的な旅をお楽しみください。